

# タイムラプス型インキュベーターを導入します

おおくま産婦人科では1月より、タイムラプス型インキュベーターを導入します。

## タイムラプス型インキュベーターとは??

従来の胚の評価では、胚培養士がインキュベーターの中の胚を取り出し、3~5日間にわたって一定の時点で3~4回の観察/検査を実施します。胚がインキュベーターの外に出ると、宇宙空間に出された人間と同様、温度も空気も全く違う環境にさらされる為、とても大きなストレスがかかります。ですので、従来の手法での観察時間は最小限に抑える必要があり、動態的評価の時間は限られてきます。

タイムラプスシステムは、内蔵カメラと顕微鏡を備えたインキュベーターの中で、胚の画像を10分毎などの一定間隔で写真撮影を行い、その写真を連続で写すことにより動画のように見る技術です。これによりインキュベーターから胚を取り出さない、安定した培養環境での状態で観察を行っていくことができ、2~5日間にわたって個々の胚のタイムラプス動画の作成ができます。

## タイムラプス型インキュベーターのメリットは??

培養環境の向上だけではなく、タイムラプスで胚の成長を継続的に観ていくことで妊娠しやすい胚と、しにくい胚の違いが分かると言われていています。今までの限定的な回数での観察過程の結果より情報が圧倒的に多くなるため、異常な分割や胚を見つけることが可能になります。



タイムラプス型インキュベーター導入に伴い、  
令和2年1月から培養料金が一律で増額されます。  
詳しくはスタッフにお尋ねください。

